

令和3年6月24日

同窓会員の皆様へ

福島県立福島工業高等学校

同窓会長 加藤 真司



記

令和3年度 総会中止のお知らせ、並びに新役員のご紹介

謹啓

梅雨の候、会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のことと存じます。平素は、母校の教育活動支援にご支援いただき、厚く御礼申し上げます。また、新型コロナウイルスの影響により、多くの事業活動が一斉に規制され、多難な状況であること、心よりお見舞い申し上げます。

さて表記の件ですが、去る6月11日（金）、ウディング・エティ（懇親会は無し）に於いて、今年度の理事会を開催しました。昨年度の事業計画と決算報告、今年度の事業計画と予算計画、そして役員改選について協議しました。その結果、予定していた7月9日（金）の総会は中止と決定致しました。

尚、上記の内容（事業報告等）につきましては、理事会の承認をもって、今年度も**決裁**済みということで、会員の皆様のご了承を頂けますよう、よろしくお願い申し上げます。

謹白

事務局長 服部誠司（024-557-1395）

追伸（事務局長 服部より）

今年度の役員改選で、新しく、4名の会員様が理事に推薦され、加藤裕司前理事が副会長へ昇任されました。また永年、本部役員としてご尽力いただきました、塩澤守行様のご勇退され、理事会にて会長より感謝状を贈呈いたしました。今後は相談役としてご協力してくださることになりました。（新役員名簿参照）

役員改選のあたり、支会長様、会員様のご紹介、ご推薦をしていただいたこと
厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。



加藤会長・塩澤相談役・松崎副会長・服部

塩澤守行相談役ご紹介（会場にて）

感謝状贈呈に前に少しお時間をいただいて、塩澤守行相談役のご紹介をさせていただきます。塩澤相談役は、本校昭和37年度、電子工業科の第1回生としてご卒業され、その後本校の教員として、昭和40年から昭和56年まで16年、平成2年から平成17年3月にご退職されるまで15年、通算31年間本校にご勤務されました。その間、同窓会事務局長を12年間任され、特筆すべき事は、創立50周年記念事業で平成12年5月に落成した、いぶき会館設立に、東奔西走されました。当時の社会状況は就職氷河期の真っただ中で、ご寄付のお願いは申し上げるのは心苦しく、心労も最大限であったと察しております。

在職中には、塩澤先生にご指導いただいた理事の方もおられ、私も機械科の卒業ですが、電気工事士の講習で、先生からご指導いただいた1人です。ご退職後は、平成17年度より理事として3期6年間、平成23年度より副会長として今日まで5期10年間、通算16年間、本部役員としてご尽力いただきました。母校の事をいつも気にかけてくださり、3年前の創立70周年記念式典事業の記念講演は、実行委員会発足前（一年半前）から人選を考慮していただき、OBの尾形好雄様を推薦していただきました。また、式典前日には、体育館で全校生へ、「県工の歴史と伝統」を述べて下さり、正しく、ミスター県工の名に相応しい、我々の先輩であります。実は今年4月の入学式の数日後、今期でもって役員の一線を退きたいと、ご意向を伺いました。事務局の私としても、これ以上お引き止めるわけにもいかず、ご意向を尊重して、今日のこの日を迎えるあたり、感謝の言葉を述べたいと思います。長い間お世話になりました、ありがとうございました。

これからは、相談役として、また、異なった角度から、私たちを見守ってくださりますよう、よろしく願いいたします。